Press Release 2014.5.1

ODA 大綱見直し、超党派の議員が勉強会

国会議員が「生徒」、高校生が「先生」になって授業。（5 月 15 日）

●達成期限を目前に問われる日本の教育支援

世界のすべての子どもが 2015 年までに初等教育を修了すべく、先進各国は途上国支援をしています。しかし、日本の ODA は基礎教育分野がわずか 1.2%と OECD 諸国の半分です。

ODA 大綱見直しの中、超党派の議員が呼びかけ人となり、「教育協力における日本の役割について考える議員勉強会」を開催。与野党議員の参加が予定されています。

「万人のための教育」(EFA: Education for All)
日本など 164 か国は、「万人のための教育」として、すべての子どもの初等教育修了を 2015 年までに達成すべく、途上国は教育の普及に努め、先進国は資金援助を約束した（2000 年世界教育フォーラム）。しかし、今なお 5,700 万人の子どもが小学校に通えていない。

●高校生が国会議員に、国際協力を問い、訴えかける

議員会館での授業風景（2013 年）

5 月 15 日、同勉強会の第 1 回は高校生が先生役となり国会議員が生徒役となる**「国会議員のための世界一大きな授業 2014」**を実施します。高校生は自身の途上国での体験などを踏まえて立案した「授業」を行います。議員向け授業は 2010 年から実施。毎年参加する議員も少なくありません。当日の様子は、大学生チームが USTREAM によるインターネット生中継、議員への取材をします。**プレスの皆様、ぜひ、取材におこしくださいますようお願い申し上げます。**

「世界一大きな授業」
「万人のための教育」を訴え、2003 年から世界約 100 か国で開催されているキャンペーン。日本では、JNNE 教育協力 NGO ネットワークが呼びかけ、毎年、全国の小中高校、大学などで合計数万人規模で実施。日本政府に、ODA の基礎教育分野の支援強化を求めている。

昨年は、全都道府県 6 万人の「世界一大きな授業」の参加と議員との授業を踏まえ、高校生たちは全国からの「世界の子どもが学校に行けるよう日本は支援を」と訴える声を政府に届けました。

「教育協力における日本の役割について考える議員勉強会」（主催：JNNE 教育協力 NGO ネットワーク）
第 1 回　5 月 15 日（木）　17:00～18:00　国会議員のための「世界一大きな授業」　講師：高校生代表
会場：衆議院第一議員会館　多目的ホール
呼びかけ人：逢沢一郎議員（自民党）、御法川信英議員（自民党）、岡田克也議員（民主党）、
阪口直人議員（日本維新の会）、谷合正明議員（公明党）、山内康一議員（みんなの党）、
笠井亮議員（共産党）、福島みずほ議員（社民党）

取材のお申し込み、お問い合わせ
「世界一大きな授業」事務局（城谷）
TEL：**03-5481-0030**　FAX：020-4662-2085
E-mail　：　**advocacy@plan-japan.org**
HP：www.jnne.org/gce　Facebook：www.facebook.com/jnne.gce
〒154-8545　東京都世田谷区三軒茶屋 2-11-22-11F　プラン・ジャパン内

jnne
教育協力NGOネットワーク（JNNE）